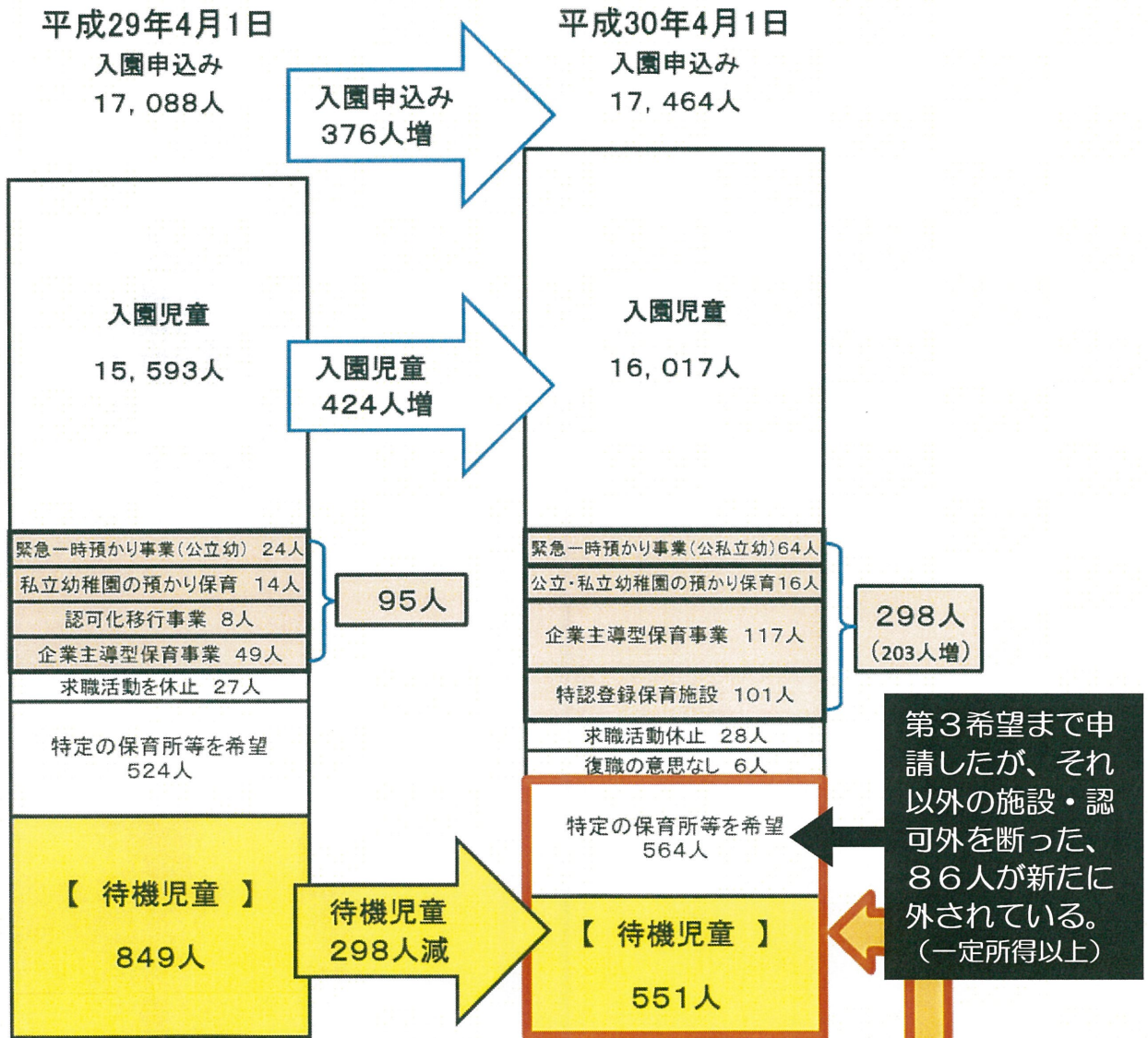


○岡山市の待機児童数について

資料1
平成30年5月25日
就園管理課



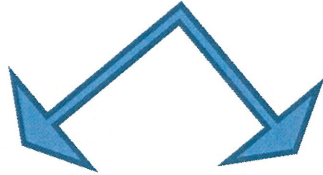
保育コンシェルジュが
利用可能な保育施設(約600人分)※を
引き続き、ご案内します

※ 資料6参照

資料② 学校司書、栄養士の今後のイメージは？

★学校司書

正規 【32人】	嘱託 【96人】
38.5時間/週	36時間/週



★数ヶ月以内に振り分け★
②会計年度任用職員のパートタイムになる可能性大

★H32年4月からの雇用形態イメージ（総務省資料をもとに田中作成）

相当の期間任用される職 (正規)
①常勤を要する職
②任期付き(3年～5年) ：(災害復旧や国際会議開催など)
【非常勤あつかいだが】
③短時間勤務の職

左記以外はすべて (非正規)
①特別職非常勤 (校医、顧問などに限定)
②会計年度任用職員
・フルタイム
・パートタイム(副業OK)

市費臨時栄養士の配置校には、
週1日 兼務栄養教諭がサポート

★学校栄養職員

栄養教諭 【47人】	栄養士	臨時 【12人】	市費正規 【21人】 (再任用1を含む)	市費臨時	
				【13人】	未配置 【11人】
全員に兼務辞令		(月給)		(日給：7,400円)	
				★食育・アレルギー対応の職務を外した	

未配置校11校には、
週2日 兼務栄養教諭がサポート (2校から1日ずつ)

資料③学校司書が果たしてきた役割

「たいすき！ がっこうとしょかん」より

子どもたちは図書館が大好き！ 読みたい本を、お見通しのように並べてくれている。それは、いつも子どもたちの様子を見守っている学校司書がいてくれるから。学力も心も大きく育てる学校図書館です。

(石川真佐代さん・元教諭)

本と子どものプロが学校にいることの意味と意義は、当の子どもたちに聞くといい。きっとたくさんのドラマを聞かせてくれることだろう。人の温もり、知の喜び、広い世界への憧れ、みんな図書館でもらったのだから。

(八束澄子さん・児童文学作家)



こんなに違う利用率(2012年度)

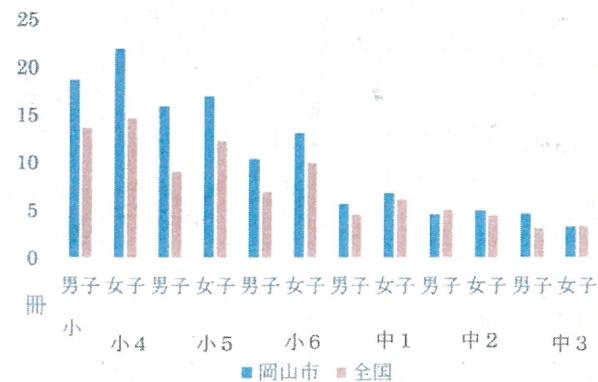
1年間の子ども1人あたりの平均貸し出し冊数 (岡山市立小学校)	83.8冊
------------------------------------	-------

1年間の利用内容	学校	岡山市1校1名の正規学校司書配置校			岡山県内3校兼務の非正規学校司書配置校	
		A小学校	B小学校	C小学校	D小学校	E小学校
①子ども1人あたりの貸し出し冊数		78.8冊	110.4冊	83.9冊	47.8冊	31.5冊
②子ども1人あたりの予約した件数		4.3件	3.1件	7.9件	2.3件	0.8件
③1年間に図書館が使われた授業時間		736時間	730時間	517時間	記録なし	記録なし
上記の授業では、学校司書が資料を提供して資料紹介や調べ方を伝えるなど、授業に関わっています。					必要な資料は提供しますが、授業に直接関わっていません。	

資料④学校司書が果たしてきた役割

「岡山市の学校図書館」より

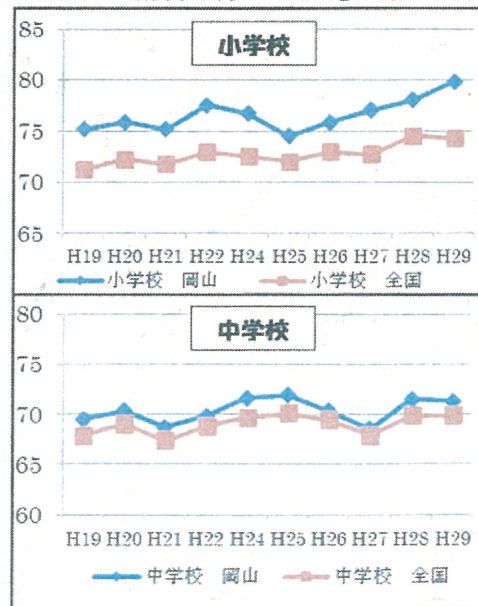
5月の1ヶ月間に読んだ本の冊数(学年別一人あたり平均)
岡山市(2017)と全国(2017)との比較



平均読書冊数： 小学校 16.2冊(全国 11.1冊)
中学校 5.0冊(全国 4.5冊)

第63回学校読書調査(全国学校図書館協議会、毎日新聞社)と、2017年5月の読書冊数を児童生徒にアンケートした結果を比較したもの

子どもたちが「読書は好きである」と答えた割合



全国学力・学習状況調査(2017年度)
児童生徒質問紙調査結果より